

【相澤病院における上腕中心静脈ポート造設の治療成績の検討】

研究の概要:

中心静脈ポートの造設は、内頸静脈や鎖骨下静脈を穿刺して、前胸部に留置するのが一般的です。医療安全の観点から、上腕静脈や尺側皮静脈を穿刺して、上腕部にポートを留置することが近年普及していますが、その治療成績の検討は十分ではありません。前胸部留置と上腕部留置の治療成績を比較することで、それぞれのリスクを検討し、上腕部留置の安全性、有効性を検討することを目的としています。

研究対象:

2001年1月1日から2025年4月1日までに、相澤病院外科にて中心静脈ポートを造設された患者さんの診療録を対象とします。

研究の意義:

中心静脈ポート造設に伴う合併症として、気胸、神経損傷、動脈穿刺、感染、血栓形成などが挙げられます。ポートの造設部位(前胸部・上腕部)に対して、BMI、年齢、疾患なども検討した上で、造設部位によって合併症の発生が異なるかどうかを検討します。造設部位による合併症の特徴が分かれば、造設部位を決定する際に参考にすることができます。

研究の目的:

本研究は、中心静脈ポート造設を造設された患者さんの診療録を検索し、その治療成績を検証することにより、今後の診療に役立てることを目的としています。

研究の方法および内容:

相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報(患者背景、臨床経過、手術所見、術後経過)を収集し、統計学的な解析を行います。情報収集の作業に当たっては担当者がこれを行います。

個人情報に関する配慮:

人体から採取された試料ではなく、診療録を主とした既存資料を研究に用います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用に別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究責任者:竹内 大輔

〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 外科センター 竹内 大輔

TEL 0263-33-8600 / FAX 0263-32-6763